

令和元年度 福智町社会福祉法人地域公益活動連携協議会 事業報告

活動報告

平成 28 年 8 月に設立式を開催して早 3 年が経過しようとしています。その間、21 法人の会員の皆さんと共に、情報交換や学習会を開催しながら「地域における 6 つの公益的な取組み」を進めてまいりました。今年度は特に今まで進んでいなかった取組みを中心に、ワーキングチームで協議を行いながら、実施に向けて取り組んでまいりました。地域パトロール推進事業においては、会員が使用する送迎車両等に「地域パトロール中」のステッカーを作成し、地域の見守り活動の取組みを進めて行きました。また、地域に身近な福祉相談窓口の設置を進め、32 の施設又は事業所において相談窓口の設置が完了いたしました。相談窓口の運用において、社会資源リストや相談窓口の手引きの作成を行い、窓口対応への支援もあわせて行いました。また、深刻な人材不足を将来的に解消するため、外国人の介護人材の受入れに関する学習会を開催するなど、その取組みを進めてまいりましたが、そのハードルは高く、すでに外国人介護人材を受け入れている施設に学びながら基盤整備を今後進めてまいります。財政運営においては、赤い羽根自販機の設置を進め、町内（18 カ所）、町外（5 カ所）設置し、ある程度安定した寄付金があり貴重な財源となっています。災害時の支援については、町との協定による住民等への支援にあわせて、会員間での連携をさらに強化するよう取組みを進めています。要支援サポーター育成事業の取組では、障害者サポーター養成講座の開催を計画し実施する直前において、新型コロナウイルスの影響により止む無く延期せざる負えませんでした。今年度後半は、新型コロナウイルスの影響で各法人においても事業の中止や延期があったことと思います。法人内での感染拡大予防のため、大変なご苦勞をされていることに敬意を表するとともに、会員間で支え合いながらこれらの困難を乗り越えていきたいと思っていますので、今後とも社福連の活動にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長 芦馬 謙二

福智町社福連 6 事業 & ふくおかライフレスキュー事業

1 地域交流活動提供事業

目的

地域に点在する施設において行う行事を地域の繋がりや再生の場として捉え、特に繋がりや薄い孤立者・引きこもり・障害（児）・高齢者、及び要支援者と地域住民の交流の場を提供し、あわせて施設や事業所の地域交流の促進を行います。

内容

- ①各事業所で開催される行事の 1 つを地域住民の交流活動の場として開催
- ②交流活動行事の町、カレンダー作成と町民への周知
- ③行事を通じて地域住民の繋がり強化へ



2 地域に身近な福祉相談窓口連携事業

32 施設・事業所に相談窓口設置

目的

それぞれ人は大小悩みを抱えており、その解決の糸口を見いだせず自殺に追い込まれた例も少なくありません。地域に点在する施設や事業所に地域に身近な相談窓口を設置し、一次相談窓口として生活困窮者や認知症など地域の要支援者の相談又はその要支援者への支援について相談を受けるとともに、ゲートキーパーとしての役割を担も担います。また、相談内容に応じて他施設や関係機関へつなげ社福連を中心とした相談支援ネットワークの構築を図っていきます。

内容

- ①各施設に「地域に身近な福祉相談窓口」を設置する。
その対応については各施設の職員により対応する。
- ②相談を受けた内容により、他施設や関係機関につなげる。
(一次的相談窓口機能)
- ③適切なつながりがスムーズにできるように、連携協議会を中心とした相談支援ネットワークを構築する。



3 要支援者サポーター養成事業

目的

今、認知症の方や身体障害者の方また精神障害者の方などの要支援者が地域において普通に暮らせる社会が求められ、ソーシャルインクルージョン（社会的包摂：要支援者を地域からはじき出すのではなく地域で包含しそれが当たり前である社会）による取り組みの重要性が叫ばれています。そのためには、地域で要支援者を支える又は理解するサポーターを多く作り出すことが必要です。そのサポーターの養成を地域ごとに進め支援していきます。

内容

- ①地域における要支援者（認知症、身体障害者、精神障害者など）を地域でサポートする体制を作り出すために、それぞれの状況に対応できる（又は理解する）サポーターの養成研修会を地域において実施する。
- ②サポーター養成事業の年間計画を立て、実施施設や実施日の設定、各施設からの職員による講師候補や企画職員、進行役職員などの役割分担を行い計画化し実行する。
- ③広報活動や各施設の近隣の地域住民に声掛けし参加を促し実施する。



4 子どもの居場所づくり・学習支援事業

目的

子どもの学力の向上に対する取り組みの中で、特に不登校やひとり親家庭に対する学習機会の確保が課題となっています。また、生活困窮世帯、ひとり親家庭や不登校児を中心に子どもの居場所づくりの必要性が叫ばれており、居場所づくり（子ども食堂含む）、交流活動、学習支援を法人の施設内で行うとともに、入所者との交流も行いながら子どもたちの健全育成を支援していきます。

内容

- ①ひとり親家庭や閉じこもり傾向にある児童等を施設の
一室を利用し、居場所づくりを行う。
- ②学校と施設利用者との交流活動を行い、学習意欲を高めるような取組もあわせて行う。モデル的に実施し支援。



5 災害時要援護者等支援事業

目的

最近は大規模災害が所かまわず発生しているのが現状です。福智町でも福智山活断層があり、未曾有の大災害が発生しないとも限りません。福智町に点在する各施設の機能を生かし、安全と認められた地域の施設を福智町と協定を結び、近隣の生活避難所として指定し、被災住民の安全と生活について支援を行います。

内容

- ①災害時に生活避難所として活用する計画を福智町と協定し支援する
- ②災害時における地域住民の日常生活が継続できるよう日用品等の提供を行う。
- ③避難が必要であり、介護が必要な要支援者への受入れと対応を行う。



6 地域パトロール推進事業

目的

地域の要支援者の見守りは、地域で行うのが最も有効的ですが、地域によっては見守り活動が成り立たない地域も存在します。そのためアウトリーチによる訪問活動が必要です。各施設で地域を回る業務の中で気づいたことを事務局へ情報提供します。特に要援護高齢者宅や孤立化した世帯、問題のある子育て世帯などに見守りや支援活動を行います。

内容

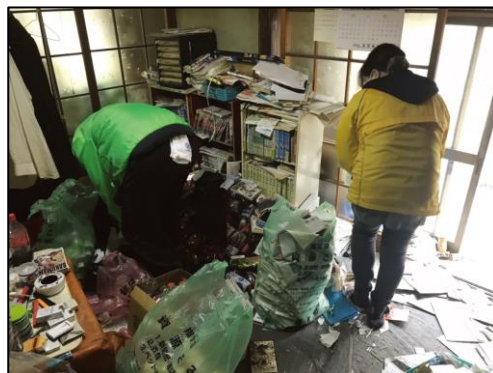
- ①会員がハイリスクの高齢者宅や孤立化した世帯、問題のある子育て世帯などに対して各施設の送迎等で地域を巡回する際に、見守りパトロールを合わせて行う。
- ②見守りマニュアルに基づき実施するとともに「気づきリスト」を活用し常に見守りのアンテナ張り実施



ふくおかライフレスキュー事業

生活困難者の命と生活を守る**伴走型支援** **11事業所** **サポーター14人**

「今日明日食べるものがない」「電気・ガス・水道が止められた」「失業した」「介護、障害の悩みがある」「虐待やDVを受けている」など、地域で暮らす様々な方からの相談に、各施設に配置されたサポーターが実際に現場に行き、自分の目と耳で確認しながら対応し、各種制度やサービスに繋ぐ等、生活が安定するまでの支援を行います。また、緊急の場合は、食材支援やライフラインの復旧等、経済的援助（現物給付）も行います。



社会資源リスト・相談窓口の手引き

福智町の町民が利用できる制度や事業、施設が掲載された社会資源リスト（全 204 ページ 分野ごと掲載）を作成し配布。

また、相談窓口が分野ごとにわかりやすく掲載した相談窓口の手引き（全 146 ページ）を作成し相談窓口業務に活用。（全事業所に配布）



外国人介護人材確保基盤整備事業

社会福祉法人の運営する介護施設・事業所の介護労働者不足は喫緊の課題です。

将来を見通してグローバルな視点から外国人介護人材の活用における安心安全な受入れ体制づくりを進めています。

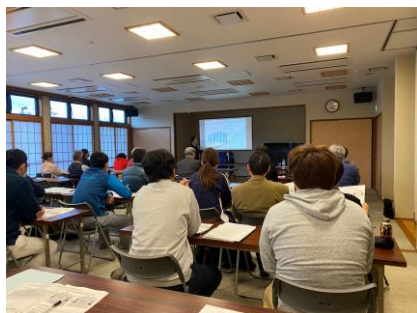
（フィリピン マニラ視察 介護自習生との面談）



令和元年度 研修会

演題：社会福祉法人における働き方改革への対応について

講師：働き方改革推進支援センター
社会保険労務士 鶴木 秀雄 氏



福智町社福連専用ホームページ



令和元年度事業実施の内容

期 日	会 場	行事・会議名	内 容
平成 31 年 4 月 16 日	健康増進センター	第 28 回事務局会議	公益的な取組、外国人介護人材アンケート調査 事業計画、予算案 全体会開催について 他
令和元年 5 月 14 日	健康増進センター	第 29 回事務局会議	全体会開催について 外国人介護人材アンケート調査集計 ふくおかライフレスキュー他
令和元年 5 月 21 日	金田保健センター	第 8 回全体会	事業報告、決算報告・監査報告 事業計画案、予算案、ふくおか ライフレスキュー、公益的な取 り組み、赤い羽根自販機、外国 人介護人材基盤整備 他
令和元年 6 月 14 日	健康増進センター	第 30 回事務局会議	公益的な取り組み 外国人介護人材基盤整備事業 について ふくおかライフレスキュー 赤い羽根自販機設置状況 その他
令和元年 7 月 17 日	金田社会福祉セン ター2 階	第 4 回要支援者サ ポートワーキング	講座内容の検討 講師の選定、講座開催までのス ケジュール 他
令和元年 7 月 19 日	健康増進センター	第 31 回事務局会議	後任監査委員の選任について 公益的な取組 外国人介護人材基盤整備 ふくおかライフレスキュー他
令和元年 8 月 21 日 ～23 日	フィリピンマニラ	技能実習生送り出 し機関視察	送り出し機関：株) 三晃H I 管理団体：全国人材支援事業協 同組合からの説明と日本語学 校視察、技能実習生面談 芦馬、中野

令和元年 9 月 5 日	健康増進センター	第 32 回事務局会議	<p>公益的な取り組み 全体会の開催について 外国人介護人材基盤整備事業 について ふくおかライフレスキュー 赤い羽根自販機設置状況</p>
令和元年 10 月 15 日	健康増進センター	第 33 回事務局会議	<p>全体会の開催について 監事の選任について 公益的な取組について ふくおかライフレスキュー 外国人介護人材現地視察の報 告 他</p>
令和元年 10 月 25 日	金田保健センター	第 9 回全体会	<p>新監事の選任について 地域の公益的取組み 外国人介護人材基盤整備事業、 ライフレスキュー事業 赤い羽根自販機 外国人介護人材フィリピン現 地視察儒教・実態報告 相談窓口の手引きの配布 他</p>
令和元年 11 月 19 日	健康増進センター	第 34 回事務局会議	<p>相談窓口の手引作成について 社会資源リスト作成について 災害支援用ビブスの整備相談 窓口の設置依頼 地域パトロールステッカー 研修会・懇親会の開催について ライフレスキュー事業他</p>
令和元年 12 月 17 日	金田保健センター	第 35 回事務局会議	<p>全体会及び研修会・懇親会の開 催について 公益的な取組について ふくおかライフレスキューセ ブンイレブン寄贈について 赤い羽根自販機 他</p>
令和元年 12 月 18 日	福岡県広川町	広川町社会福祉法 人連絡会	<p>広川町社会福祉法人連絡会設 立における第1回連絡会におい て、福智町の取り組みの実践事 例を紹介</p>

令和2年1月24日	ふじ湯の里大広間	第10回全体会及び 研修会・懇親会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">全体会</div> 地域における公益的な取組 福岡ライフレスキュー事業 実践報告：実際に外国人介護人材を受け入れた施設からの報告 福智園：永末事務長 セブンイレブン寄贈（クリスマスチョコミント） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">研修会</div> 社会福祉法人における働き方改革への対応について 社労士：鶴木秀雄 氏 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">懇親会</div> ふじ湯の里大広間
令和2年2月20日	金田保健センター	第36回事務局会議	公益的な取組について 共同事務事業の取組について ふくおかライフレスキュー 社会資源リスト配布 社福連パンフレットの作成
令和2年3月16日	健康増進センター	第37回事務局会議	令和2年度事業計画案・予算案 専門資格所持者調査について 求人状況調査について 社福連パンフレットの配布 他

- ・全体会 3回
- ・研修会 1回
- ・事務局会議 10回
- ・懇親会 1回
- ・ワーキングチーム会議 1回
- ・赤い羽根自販機設置推進 設置数：町内20台、町外3台（令和2年4月1日現在）